

Q5. 投薬と休養・休職では治らない患者さんが増えていると聞きます。うつ病治療の基本はどのようなものでしょうか？

A5.

投薬と休養・休職は治療の基本であり、これらの方法が本質的に誤っているわけではありません。いかに各ケースに応じた対応をしていき、有効性を高めていくかが求められていると言うべきでしょう。その点からすれば、所謂「3分診療」や過剰な多剤併用が適切なうつ病医療ではないことは言うまでもありません。ただ、所謂3分診療(この言い方そのものにも誤解を呼ぶ面があり、適切さを欠きますが)は、受診患者さんの数が極端に多くなり、限られた時間で対応することが困難になっているという現状とも関係しています。コメディカルスタッフのうつ病医療への参画を強化するなど、医療施策的な対応も必要と思います。もちろん、いくら患者数が過剰であるからと言って、雑に診察して良いわけではありません。意味の不明確な多剤併用などの不適切な治療を廃絶するために、第一線の医師に対して正しい情報をいかに提供するか、技術を高めるための卒後研修の場をいかに提供するかが大切な問題であると認識しています。学会レベルでも治療ガイドラインの策定など、さらに啓発、研修の開催などで対応せねばならないと考えています。